

2021年3月期  
決算説明資料

YOSHITAKE 

JASDAQ

Listed Company 6488



# 2021年3月期 決算概要

# 2021年3月期の総括



国内経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020年4月に緊急事態宣言が発令され、政府による休業要請や外出自粛の強まりを背景に、巣ごもり関連消費は伸びたものの、感染拡大への懸念からサービス消費を中心に個人消費は伸び悩みが続き、企業部門においては、内外需要の急減を受けて企業収益の低下や雇用環境の悪化が続いており、加えて先行きに対する不確実性の高まりが企業マインドを下押しし、設備投資は大きく減少しました。緊急事態宣言の解除後は、段階的な経済活動の再開とともに感染拡大防止に最大限配慮しながらの経済活動が進められた結果、政府による特別定額給付金やGoToキャンペーンなどの政策効果も後押しし、景気は緩やかに持ち直す動きとなりました。

しかしながらその後、感染第2波、第3波と感染者は再び急増し、2021年4月の感染第4波による感染者数の爆発的な増加により一部地域で3度目の緊急事態宣言が発令されるなど、感染再拡大による経済への影響が懸念され、国内のワクチン接種の普及も時間を要する見込みであるため先行きは不透明な状況となっております。海外経済においては、ワクチンの普及とともに移動制限は徐々に解消され、コロナ終息後を見据えたデジタル化・グリーン化投資が各国で本格化し、設備投資を中心に景気は緩やかな回復傾向で推移すると見込まれるものの、新興国ではワクチン普及の遅れによる経済活動抑制の長期化が懸念されるほか、資源、材料価格は上昇を続けており、先行きについては不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、国内顧客向け販売においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため営業活動が制限される中、テレビ会議による客先対応など、非対面型営業を積極的に推進いたしました。建築設備市場にてコロナ禍による物件改修工事の中止や延期、首都圏の再開発案件の工期遅延などにより国内売上は低調に推移しました。海外顧客向け販売においては、新型コロナウイルス感染症拡大による景気の落ち込みから諸外国に先駆けて経済回復を遂げた中国向けの販売は前期を上回る売上を達成いたしました。その他のアセアン地域や北米地域向けの販売は大きく落ち込み、販売活動全体としては前期を下回る結果となりました。

当社グループは一丸となり、引き続き積極的な提案営業を展開いたしましたものの、連結売上高は62億63百万円となり、前期に比べ10.3%の減少となりました。

損益面では、営業利益は4億56百万円(前期比24.9%減)、経常利益は7億77百万円(前期比14.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は5億89百万円(前期比18.4%減)となりました。

1. 新型コロナウイルス感染症拡大による売上の減少  
それに伴う各種利益の減少
2. 米国関連会社の減益に伴う、持分法による投資利益の減少
3. 円安進行による為替差益の増加

# 2021年3月期の連結貸借対照表



(単位: 千円)

	前期	今期	増減額
流動資産	7,747,548	7,605,350	△ 142,197
有形固定資産	3,577,574	3,515,052	△ 62,521
無形固定資産	72,821	61,540	△ 11,280
投資その他資産	2,158,174	2,946,806	788,631
固定資産	5,808,570	6,523,400	714,829
資産合計	13,556,119	14,128,750	572,631
流動負債	1,127,198	1,057,331	△ 69,866
固定負債	822,838	809,856	△ 12,982
負債合計	1,950,037	1,867,188	△ 82,848
純資産合計	11,606,081	12,261,562	655,480
負債純資産合計	13,556,119	14,128,750	572,631



# 連結貸借対照表主な変動要因



## 流動資産の減少

売上の減少による売上債権の減少  
たな卸資産の減少

## 投資その他資産の増加

投資有価証券の取得等により増加

## 純資産合計の増加

親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益  
剰余金の増加  
為替換算調整勘定の増加

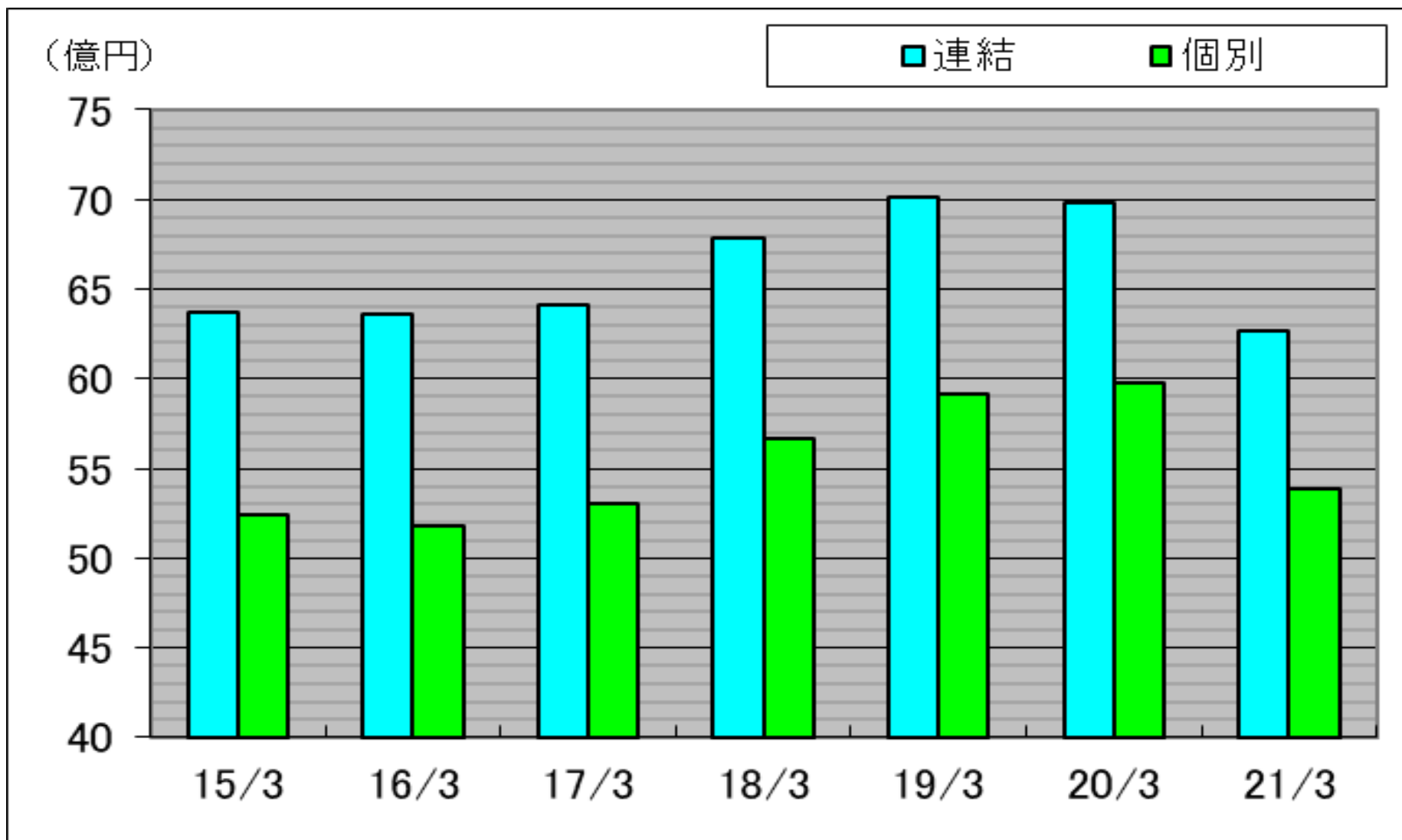
# 2021年3月期の連結損益計算書



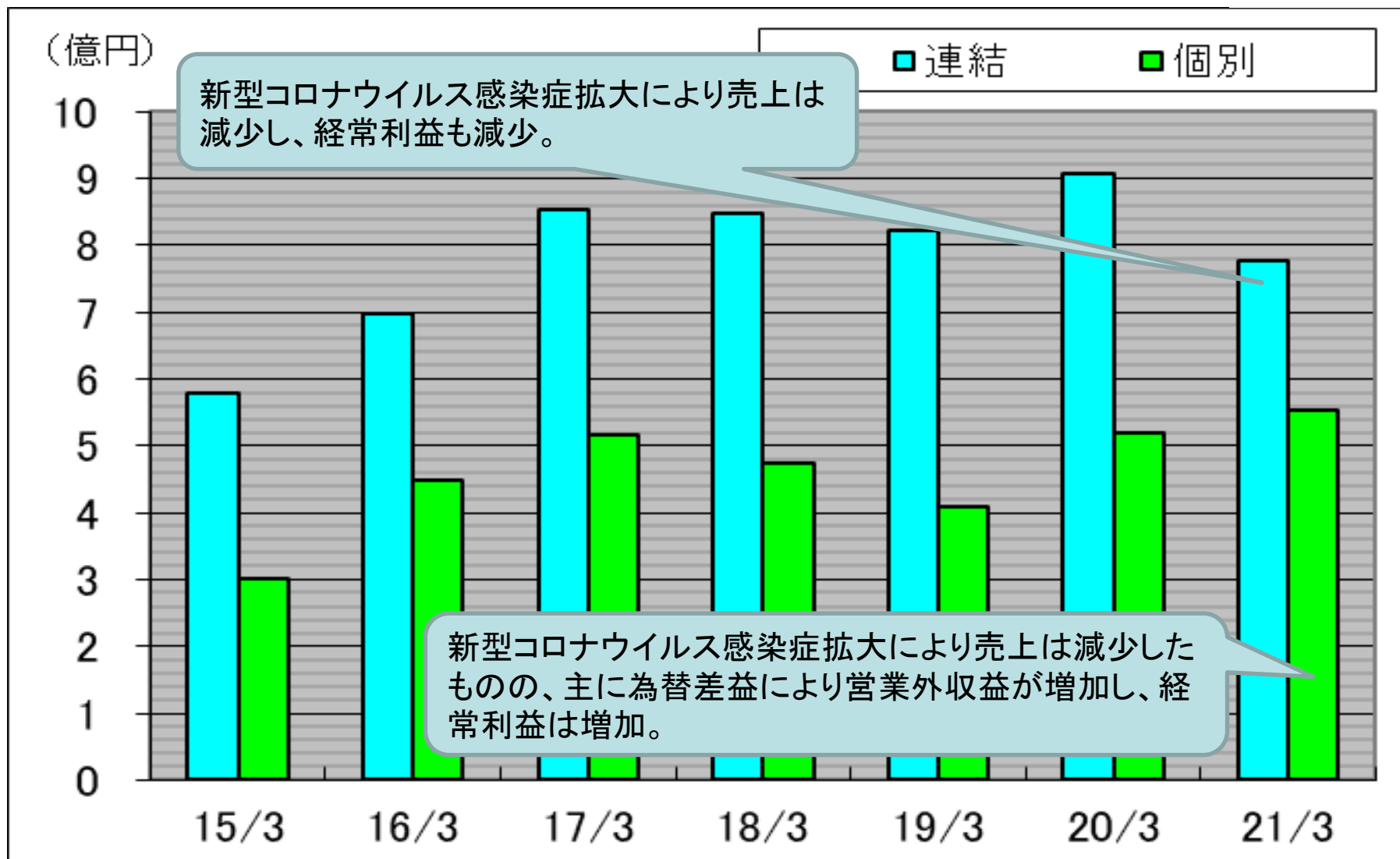
(単位: 千円)

	前期	今期	増減額
売上高	6,983,838	6,263,503	△ 720,334
売上原価	4,208,222	3,801,974	△ 406,247
売上総利益	2,775,615	2,461,529	△ 314,086
販売費及び一般管理費	2,167,495	2,004,914	△ 162,580
営業利益	608,120	456,614	△ 151,505
営業外収益合計	400,517	339,866	△ 60,650
営業外費用合計	100,669	18,545	△ 82,124
経常利益	907,967	777,935	△ 130,031
特別損失合計	1,449	2,098	648
税金等調整前当期純利益	906,517	775,836	△ 130,680
法人税、住民税及び事業税	148,542	174,264	25,722
法人税等調整額	25,612	3,080	△ 22,531
当期純利益	732,362	598,491	△ 133,871
非支配株主に帰属する当期純利益	10,661	9,446	△ 1,215
親会社株主に帰属する当期純利益	721,701	589,044	△ 132,656

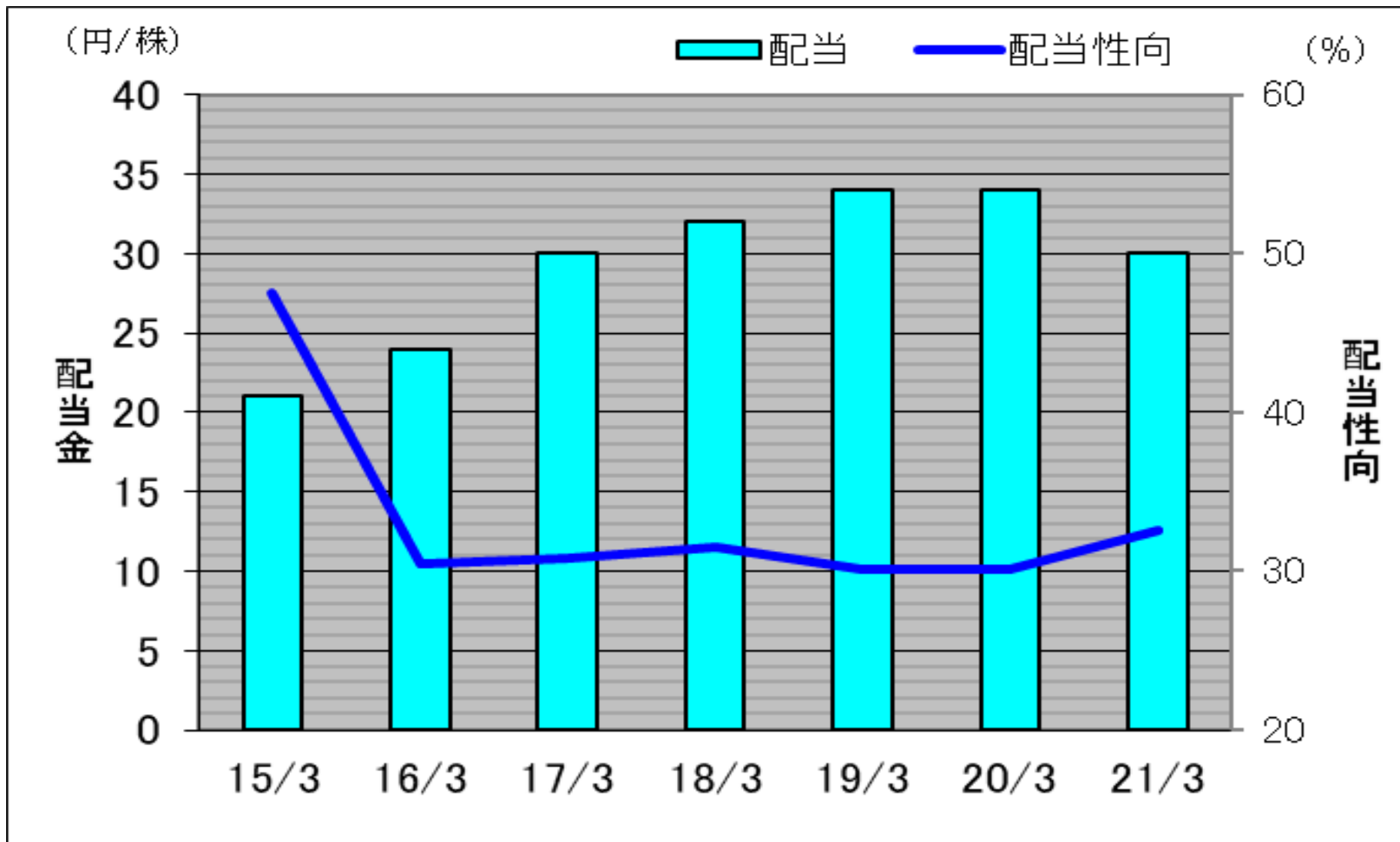
# 売上高の推移



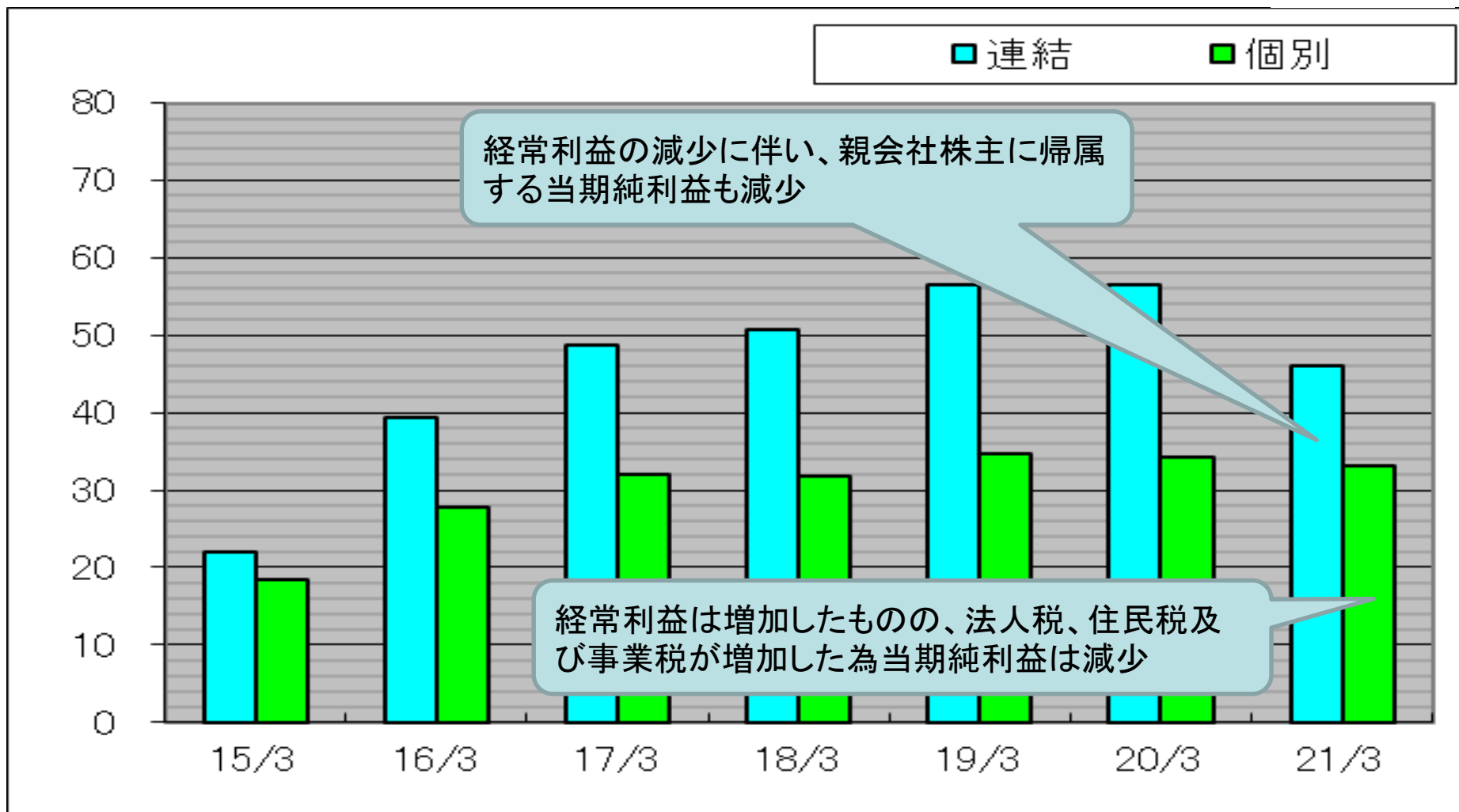
# 経常利益の推移



# 1株当たり配当の推移

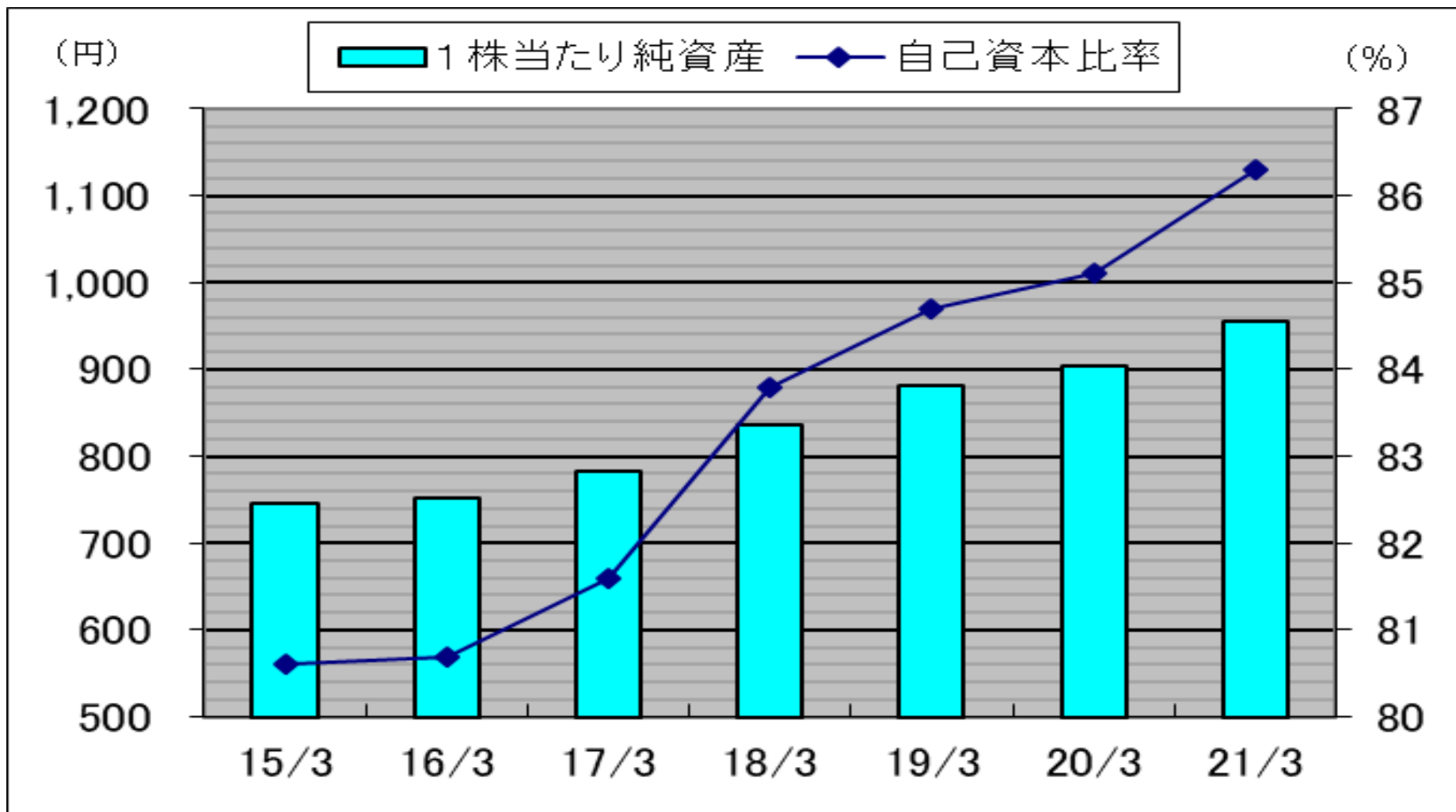


# 1株当たりの当期純利益の推移



※ 2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
2015年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

# 1株当たり純資産(連結)の推移



※ 2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
2015年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

# 関係会社の業績は好調です。



子会社、持分法適用会社(関連会社)は業績好調です。

**Yoshitake Works (Thailand) Ltd.**    **100%所有**    (タイ国における製造子会社:各種バルブ製造)

**カワキ計測工業株式会社**                      **100%所有**    (日本における製造子会社:流量計の製造)

**ヨシタケアームストロング株式会社** **50%所有**

(日本における販売子会社:米国アームストロング社製品の販売)

**Armstrong Yoshitake, Inc.**                      **50%所有**    (米国における販売関連会社:当社製品の販売)

**Everlasting Valve Company, Inc.**              **50%所有**    (米国における製造関連会社:特殊バルブの製造)





# 2022年3月期 業績予想

# 2022年3月期業績予想



(単位: 千円)

	今期	来期予想	増減額
売上高	6,263,503	6,960,000	696,497
営業利益	456,614	770,000	313,386
経常利益	777,935	1,070,000	292,065
税金等調整前当期純利益	775,836	1,080,000	304,164
親会社株主に帰属する当期純利益	589,044	810,000	220,956

# 2022年3月期業績予想の概要



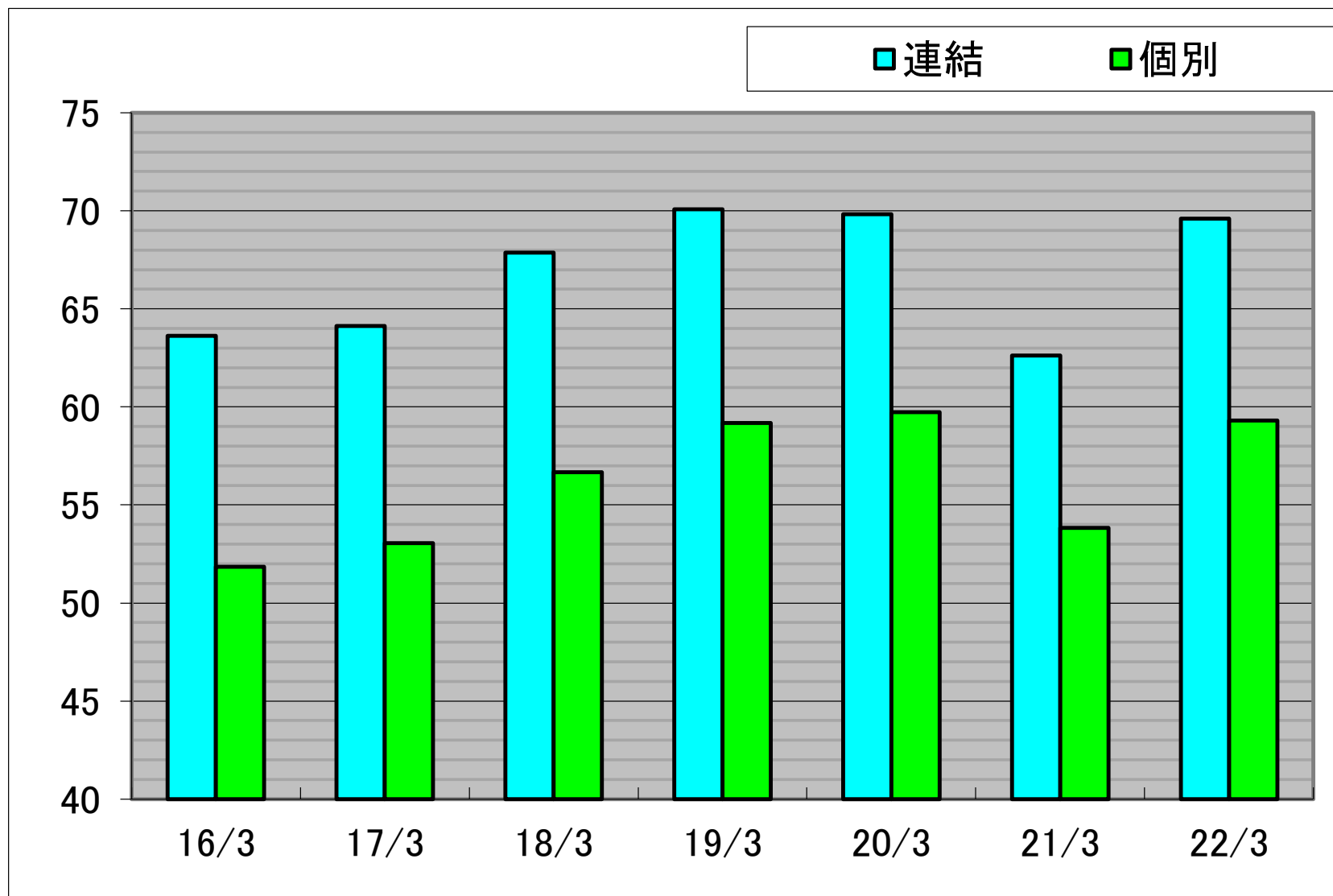
## 連結売上高:

新型コロナウイルス感染症拡大の脅威は依然として続いておりますが、当社グループにおいては、より高度な提案営業を推進していく中で収益構造は改善を継続すると見込まれ連結売上高は69億60百万円(当期比11.1%増)を予想しております。

## 損益:

資源、材料価格の上昇など懸念事項はあるものの当社グループ一丸となり生産活動全体の合理化とコストダウンを推進してまいります。

# 売上高の推移



# 対処すべき課題



継続的な成長を目指して次のような課題に取り組み、経営の効率化と業績の向上に努めてまいります。

1. 新型コロナウイルス感染症のリスクコントロール
2. テレビ会議システム等を活用した遠隔営業やミーティングの推進
3. 取扱い製品の拡充とパッケージ販売の多様化、シェアの向上
4. 主力製品の強力な原価低減推進
5. 自動化・省人化・省エネ・安全性向上・環境改善活動の推進
6. 開発期間の短縮



# 配当政策

当社は「株主に対する配当額の決定は最重要政策のひとつ」と考えており、基本的には利益に対応して配当性向30%以上を目標に配当額を決定する方針です。

当事業年度(第78期)につきましては、1株当たり30円の配当金とさせていただきます。

# 企業理念



## フェア ビジネス

### Y's a Business of Fair Endeavor

当社が掲げる企業理念は「フェアビジネス」。

いつでも、どんな時にも、誰に対しても常にフェアに行動します。

そして、コーポレートガバナンスやコンプライアンスはもとより、誠実なプロポーザル&ソリューションをお客様に提供することも、私たちが考えるフェアビジネスの条件です。



**本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをお含みおき下さい。**